



春のトラックシーズンが幕を開け、選手たちは各種主要大会に臨みました。

中でも存在感を示したのは入社3年目の漆畑瑠人選手です。昨シーズンにはハーフマラソンで安川電機陸上部歴代最高記録(以下、安川記録)をマークするなどスピードに磨きをかけてきましたが、今季はその成長が更に加速。自身シーズン初戦となった第33回金栗記念選抜陸上中長距離大会5000mで13分36秒10の好記録をマーク。勢いそのままに5月の第36回ゴールデンゲームズinのべおか5000mでは13分32秒71を記録し、20年ぶりに5000mの安川記録を更新する快走を見せました。

今季から主将を務める古賀淳紫選手も4月の第59回織田幹雄記念国際陸上大会5000mで13分38秒71(自己新記録)の記録をマークし、チームをけん引するベテランの意地を見せました。また副主将を務める合田棕選手が第109回日本陸上競技選手権大会10000mに出場しました。結果は28分53秒53の15位と悔しさの残るレースとなりましたが国内トップレベルのレースに挑んだ経験を、今後の糧として更なる高みを目指してチャレンジします。

チームの中堅として活躍する佐藤俊輔選手も今期初戦の九州実業団記録会で13分54秒12の記録をマークし5000mの自己ベストを更新するなど、各々が確かな手応えをつかんでいます。

今後は秋の駅伝シーズンに向け走り込みを行う強化期間へと移行します。更にレベルアップを図っていきますので、引き続き選手の応援、よろしくお願いします。



5000mで安川電機歴代最高記録を更新した漆畑瑠人選手



九州実業団選手権5000mで2位に入った佐藤俊輔選手



日本選手権10000mに出場した合田棕選手



選手コメント

漆畑 瑠人

いつも陸上部へのご支援いただきありがとうございます。
春のトラックシーズンでは1500mと5000mで安川電機新記録を樹立することができました。
2025年に入り自分自身の成長を感じられる結果を出すことができとても嬉しく思います。
今後も更に上を目指していきますので、応援よろしくお願いします。